



南風原小だより

南風原町立南風原小学校
学校だより 9月号
令和5年9月26日
校長 前城 光 告

子どもを守る熱中症対策

処暑の候、保護者の皆様におかれましては、益々ご健勝のことと存じます。日頃から本校教育活動に対しまして、ご支援、ご協力いただき誠にありがとうございます。

さて、2学期がはじまりましたが、気温が大変高い状況にあり、熱中症について心配しています。そこで、本校では学校教育活動において、次のような熱中症対策を行っています。

①こまめな水分補給：高温・運動時の水分補給については、もともと脱水がない状態であれば、小学生では100-250mLを20分毎の経口補水が目安になるといわれています。子どもが「喉が渴いた」と思ったときには、もうすでにかかなり水分が失われています。喉が渴く前に少しずつ水分を補給させるため、水筒を常時持ち歩かせています。喉の渇きにに応じて適度な飲水ができる（自由飲水）能力の育成や適切な飲水行動を学習できるようにしています。

②体育学習の環境改善：長時間連続運動を続けることは避け、体育の授業中にも「給水タイム」を設定しています。運動場には給水・休憩のための「テント設営」、体育館は広い空間であるにもかかわらず熱がこもりやすいことから「大型扇風機」を常時設置して風を広範囲に送れるようにしています。また、水筒を忘れた子への対応としてのキーパー（ウォータージャグ）の準備や体育での貸出用の帽子対応、熱中症指数計設置もしています。

つきましては、ご家庭におかれましてもお子さんの体調管理には十分に留意され、子どもの衣服や帽子等についてもご協力いただきますようお願いいたします。

◎子どもの衣服の選択・着脱に関する十分な知識は身につけていません。そのため、保護者が熱放散を促進する適切な服（汗をよく吸う肌着、通気性の良いもの）を選んであげてください。

◎登下校や体育、屋外における活動の際は、帽子着用を推進しています。



校内童話お話大会・12名のステキな表現力

9月22日（金）の授業参観の日にPTA主催の校内童話お話大会が開催されました。

前年度はコロナ禍の影響で観衆なしの審査のみでしたが、今年度は4年ぶりに低学年・高学年に分かれて多くの子ども達や保護者の目前で童話お話大会ができました。

低学年7名、高学年5名の各学年代表の遠くまで聞こえる大きな声や身振り手振りを含めた素晴らしい表現力を発揮してくれました。

